

## 令和元年度 卒業式 式辞

春の柔らかな光が校庭の木々を照らし、命の躍動の季節がまさに始まろうとしている今日の佳き日、奈良市立あやめ池小学校を巣立つ九十六名のみなさん、卒業おめでとうございます。心からお祝いをいたします。

さて、卒業生の皆さん、元気でしたか。卒業式を前に、突然の臨時休業が始まり、なかまと過ごす卒業までの大切な時間が無くなってしまいました。また、卒業式がどうなるのか、不安な気持ちで毎日を過ごしていたと思います。そして今日、こうして、たくさんの方のご理解とご協力で卒業式を行うことができます。

感謝です。

私が皆さんと一緒に過ごしたのは、三年間でした。今、振り返ってみると、とても幸せな日々だったと思えます。卒業生の皆さんと一緒に平和について考えた修学旅行、そして、宮島の美しい風景や水族館での楽しい時間。運動会での、あの力強い演技と迫力あるリレー。最後の参観で聞かせてくれたすばらしい歌声と演奏。私はみなさんの、そんな姿に出会えたことが幸せでした。

本当にありがとう。

でも、そんな日々の中でもたくさんの失敗や迷いや悩みがあったことでしょう。生きるということは、全力で駆け抜けるばかりではなく、立ち止まり、振り返りながら自分のペースで進むことです。そして、人生の成功とは、振り返ってみたときに楽しかった、幸せだったと答えることができるかだと私は思います。だれかを幸せにする力を秘めた皆さん、時には自分自身への応援団長になりながら、これから始まる中学校生活でも、自分のペースで、ゆっくり、着実に進んでいってください。

巣立ちゆく九十六名の卒業生の皆さん、心も体もたくましく、そして周りの人のことを思いやれる温かい心を持った中学生になってください。そして時には心のふるさとあやめ池小学校を訪ねてください。

それでは、皆さんの前途に、幸多かれとお祈りして、お祝いの言葉といたします。

2020年3月20日

奈良市立あやめ池小学校長  
西浦克博

